

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和5 年度実施分

施設名	青梅市吉川英治記念館		
指定管理者名	株式会社フクシ・エンタープライズ		
指定管理期間	令和2年7月1日～令和7年3月31日	担当課	文化課
設置目的	青梅市吉川英治記念館を運営するため		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・基本協定書 ・年度協定書 ・日報 ・定例会議資料	A	適正な人員配置をし、学芸員の配置の他イベント時では、スタッフ増員など協力体制を取ることが出来た。	A 協定書や事業計画にもとづき管理運営業務が履行されている。 なお、印刷物等の作成において、校正等が組織的に行われていない一面がある。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	・事業報告書 ・定例会議資料	B	定例会議資料等の書類提出が遅延することがあった。	B おおむね定められた期間内に提出しているが、外部からの文書資料、来館者など報告遅延があった。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・基本協定書 ・年度協定書 ・定例会議資料	A	協定書を厳守して遂行した。 早期発見、早期修繕に取り組んだ。	A 点検・確認により安全確保に取り組まれており、安全性については十分に確保している。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	・基本協定書 ・年度協定書	A	協定書を厳守して遂行した。	A 個人情報のある書類や情報を厳重に管理し、職員研修を実施するなど個人情報保護対策が徹底されている。委員会への報告も適切といえる。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	・日報 ・定例会議資料 ・ヒアリング	A	協定書を厳守して遂行した。	A 日報・月次報告・業務報告・自主事業報告書などを適正に作成され、市に報告している。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	・基本協定書 ・年度協定書 ・ヒアリング	A	協定書を厳守して遂行した。 緊急時対応マニュアルを完備している。	A 緊急時の体制は整整されている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	・事業報告書 ・ヒアリング	A	協定書を厳守して遂行した。 接遇研修と併せて、災害時等の緊急時の対応研修・AED研修を実施した。	A 災害時等の緊急対応研修を消防署指導の下、実施している。
事業効果等	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	・定例会議資料 ・ヒアリング	A	協定書を厳守して遂行した。 日常点検を実施しており、速やかに報告も行っている。	A 備品等の破損は見られない。 軽微な修繕に対し適正に対応している。
	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	・事業報告書	S	玉堂美術館との連携事業を複数(コンサート・季節展示・オリジナルグッズ販売等)実施することが出来た。	A 計画していた各種事業に取り組み、実施することはできたが、その過程において、連絡・相談すべきものがあった。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	・事業報告書 ・ヒアリング	A	事業計画の他にミニ企画や湯茶サービス等を行い、来館者へのサービス向上が図れた。	B 年間を通して、すべての事業を実施することができたが、利用状況は事業計画どおりには至らなかった。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	・事業報告書 ・定例会議資料	A	協定書を厳守して遂行した。 通年で利用者アンケートを行っており、年1回の満足度調査、事業毎のアンケートも実施した。	A 来館者アンケートの他に満足度調査、自主事業アンケートを実施し、利用者の意見を把握できている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	・事業報告書 ・定例会議資料	S	協定書を厳守して遂行した。 アンケート結果で95%以上の満足度を得ることができた。	A アンケート結果において多くの好評を得ており、また、市へも直接同様の声が寄せられている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	・事業報告書 ・ヒアリング	A	協定書を厳守して遂行した。 迅速に対応できた。	A 改善策について市と協議しながら、迅速に対応している。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	・事業報告書 ・定例会議資料	A	行政との連携及び関係機関との連携は達成できているが、今後も地域連携を強化していきたい。	A 記念館の設置目的に沿った運営を行っている。また、近隣の宿泊施設や商店会などの関連団体との連携も実現することができた。
会計	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	・事業報告書 ・定例会議資料	A	指定管理者選定時とは状況や環境が変化しているため可能な限り対応した。	A 提案事業の多くを実施したほか、市から新たに依頼した事業も積極的に取り組んでいる。
	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	・ヒアリング	A	協定書を厳守して遂行した。	A 適正に管理している。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	・ヒアリング	A	協定書を厳守して遂行した。	A 適正に管理している。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が明確である。	収支報告書	C	提案時からの来館者数の見込の甘さは解消できなかった。支出見込みは想定内で前年度よりは赤字が縮小した。	B 来館者数の伸び悩みにともなう観覧料などの収入減や市側から依頼された予定外の事業を実施したにも関わらず、それを補うべく、コスト削減などにより、大幅な赤字決算とならないように努力している。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	決算書	A	経常利益率6.34%	A 経常利益は6.3%以上となっており、赤字決算には陥っていない。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	決算書	A	自己資本比率66.10%	A 自己資本比率は65パーセント以上となっている。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	決算書	A	流動比率280.14%	A 事業継続の安全性に不安はない。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評価点	数	記入欄
S	2	・基本協定書等を遵守し、募集要領および管理運営基準に沿って業務を遂行いたしました。 ・管理業務については、一部書類提出が期限に間に合わなかったことが課題でありましたが、適正な人員配置については、学芸員の配置を行い、適切な協力体制で管理をいたしました。 ・事業計画については、一部天候不良による中止を除き、ほぼ計画通りに出来ました。5年度は特に「玉堂美術館」との連携事業に力を入れ、夏に「コンサート」を初めておこなった他、秋季展示においては、文化課様のご協力も賜り貴重な資料を借用でき、オリジナルグッズの開発・販売の実現など、大きな成果を得られたものと考えております。 ・収支状況については、提案時からの来館者数の見込の甘さを解消できず赤字になりましたが、支出見込み額は想定範囲内の金額であったため、赤字金額は縮小することができました。来館者数の増加は引き続きの課題として来期に向けて努力していく次第であります。
A	17	
B	1	
C	1	

2 市の評価、意見等

評価点	数	記入欄
S	0	・基本協定書等にもとづき、適切に管理・運営が遂行している。 ・市からの当初計画にない事業の相談においても、それを補うべく、流用などにより、大幅な赤字決算とならないよう尽力した。 ・観覧者数が伸び悩んでいる状況であるが、市や近隣地域との連携を計ることで、青梅市吉川英治記念館を盛り上げていく努力している。 ・計画どおりに事業を実施できる状況になってきたと言えるが、青梅市吉川英治記念館の意義を捉え、いっそう節度ある対応に尽力いただきたい。 ・次年度に向けて、入館者増を見込める団体客の誘致の実施や実態に応じた入館者見込数を算出し、適切な事業運営に努めてもらいたい。
A	18	
B	3	
C	0	